

科目名	韓国朝鮮史概説	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	吉澤 文寿	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-330009	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	この講義は「植民地主義克服のための朝鮮史」をテーマとして、朝鮮史を古代から現代まで通観する。具体的には、朝鮮におけるナショナリズムの起源と展開について考察をする。そして、これから生きるわたくしたちが現在も継続する「近代」、すなわち植民地主義を克服するための道筋について、展望を示したい。				
学修到達目標	朝鮮史の概要を習得し、みずからの関心に即して、一定の結論を示すことを目指す。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	講義の概要、レポート作成および参考文献案内
第2回	原始・古代…古朝鮮から三国時代まで
第3回	古代～中世…統一新羅から高麗まで

第4回	中世～近世…高麗後期から朝鮮王朝前期まで
第5回	近世（2）…朝鮮王朝転換期以降の国際関係
第6回	近世（3）…朝鮮王朝後期
第7回	近世から近代へ…「開国」前夜の朝鮮
第8回	近代（1）…大院君・閔氏政権期
第9回	近代（2）…日清戦争と朝鮮
第10回	近代（3）…大韓帝国期の朝鮮（日露戦争直前まで）
第11回	近代（4）…日露戦争以後の国権回復運動
第12回	近代（5）…3・1運動
第13回	近代（6）…「文化政治」期の朝鮮人の諸活動

第14回	近代（7）…戦時体制期の朝鮮
第15回	現代の課題…解放から現在まで、まとめ
第16回	定期試験（レポート提出）

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。事前配付資料の予習。
【復習】時間・内容	2時間。自主学習により、講義内容に対する理解を深める。

成績評価	
評価基準・方法	期末レポート（70%）、講義ごとに配布するコメントカードの記述内容（30%）によって評価する。
フィードバック方法	コメントカードの内容は授業中に公表し、講評を加える。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	<p>教科書は使用しない。講義時にレジュメを配布する。 レポート課題図書は以下の通りである。</p> <p>岡百合子『中・高校生のための朝鮮・韓国の歴史』（平凡社ライブラリー）平凡社、2002年 中塚明『これだけは知っておきたい 日本と韓国・朝鮮の歴史』高文研、2002年 朝鮮史研究会編『朝鮮の歴史 新版』三省堂、1995年</p> <p>また、参考図書として、下記の概説書を紹介しておく。</p> <p>田中俊明編『朝鮮の歴史 先史から現代』昭和堂、2008年 李成市、宮嶋博史、糟谷憲一編『朝鮮史（全2巻）』山川出版社、2017年</p>
受講上の留意点等	日本のアジア認識をテーマとする「日本史（近現代）」を受講しておくこと、本講義の内容理解がより深まるだろう。
JABEE	